

●本リリース(全7枚)は、大分県政記者クラブ・別府市政記者クラブ・福岡経済記者クラブ加盟各社に送信しています。

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University

お知らせ

立命館アジア太平洋大学

2016年4月20日

APU リリース 2016-5

報道機関 各位

立命館アジア太平洋大学 (APU) 別府および大学の状況 (4月20日16時30分現在)

4月20日16時30分現在の、別府市および立命館アジア太平洋大学 (APU) について追加情報をお伝えします。
(APUに関して)

- ・ 4月19日(火)、駐日台湾総領事館、駐大阪大韓民国総領事館・駐福岡大韓民国総領事館の御一行を新たに受入れ、APUキャンパス内の視察、学生との懇談等を実施しました。現状をご覧頂き、関係者の方々も安心してお帰りになりました。
- ・ 日経ビジネスオンラインに今回の地震発生時の別府の状況や大学の対応の記事が掲載されました。記事を添付します。 <http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/15/110879/041900318/>
- ・ 4月21日(木)からライブラリーが部分的に開館します。

(別府市の状況)

- ・ 4月19日17時以降、別府市では2回の地震が発生しました(震度4、震度1が1回ずつ)(気象庁地震情報より)。この震度4の地震は20日14時27分頃発生しました。大学でキャンパス内の被害の確認を行いました。建物も含め被害はでていません。

(学生の震災支援活動)

本学学生は、14日の熊本地震発生翌日より、震災に対して支援活動を開始しました。2つの活動を紹介します。
【募金活動・物資提供など】本学学生を中心とした Move for Kyushu、KOKOKARA、Go to Kumamoto の3団体が協力し、別府の飲食店、温泉施設などを回り、熊本県の被災者に送るための物資と支援金調達を行っています。また、別府駅での募金活動も継続しています。明日4月21日も行う予定です。代表学生の声や様子などを、明日以降お伝えする予定です。

【SNS】フェイスブックサイト「Information BEPPU」は、地震後の情報発信・共有サイトです。松尾篤典(まつおあつのり)代表(国際経営学部2回生)は、16日未明に起きた地震直後から、正しい情報発信のためにこのサイトを立ち上げ、別府市内の避難所の混み具合や避難する際の注意事項などを発信しています。本サイトには、市民を含め約3200人が登録しており、留学生や外国人観光客のために、情報を日本語に加え英語などでも配信しています。

これら上記の活動団体の代表学生数名が、熊本県へ支援物資等を届けに行く予定です。